

開発から10年 抗菌剤が戦力に

マスク販売好調

シンボリ(名古屋市中北区、竹内俊太社長、052・911・9422)の抗菌マスクの発売が好調だ。独自開発の抗菌剤を浸透させた繊維でつくる。4月の発売以降、取引先の会社ロゴをプリントしたOEM(相手先ブランド)生産や、関西圏のコンビニエンスストアを通じて約7万枚売れた。竹内社長は「2021年夏までに累計14万枚販売したい」と意気込む。

同社の抗菌剤「N3-1 pure」はナノメートル(ナノは10億分



シンボリ

溶液にアミノ酸を加え純水で希釈した液体。開発したのは約10年前。医療機関や福祉施設などに販売したが、その後は売れ行きが悪化。抗菌剤事業からの撤退を検討していたところ、コロナ禍が発生した。「何か活用できないか」(竹内社長)と模索し、抗菌マスクを考案した。

同社は自動車用アルミニウムホイールの修理や板金塗装などが主力。抗菌剤についても再び事業拡大を目指す。竹内社長は「マスクを通じて当社の抗菌剤を知ってもらいたい」とアピールする。

(名古屋)